

【ビジターセンター イベント案内】

環境省 箱根ビジターセンター

「箱根地域自然に親しむ運動」
江戸時代の東海道を歩く～旧東海道の石畳を歩き、昔の箱根に思いを馳せませ～
実施日：7月22日(金)
応募締切：6月29日(水)必着
費用：大人1900円 子供1000円
(往復バス代、保険代込)
申し込み：箱根ビジターセンター宛てにメール又は往復はがき。詳しくは、ビジターセンターまでお問合せください。

県立丹沢湖ビジターセンター

- 出張トーク (無料・申込不要)
センター職員が丹沢湖周辺のおすすめ自然スポットに出現！センターを離れて、数分～1時間のトークやガイドを行います。
※開催場所や時間、内容は月によって変わります。
開催日：毎月第4土曜日
10:30～14:30の間の1時間
- ガイドウォーク (無料・申込不要)
開催日：毎月第2日曜日
10:00～12:00
- スライドトーク (無料・申込不要)
開催日：毎月第1・3・5土曜日、祝日
11:30～12:00

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- ガイドウォーク (無料・申込不要)
開催日：第1日曜日・第4日曜日
13:30～14:30頃
※雨天時にはスライドトークを実施
- スライドトーク (無料・申込不要)
開催日：毎週土曜日、第2・第3日曜日
(第5日曜日)、祝日
13:30～14:00

県立秦野ビジターセンター

夏休み自然教室「歩こう！丹沢の水源林」
内容：森の中には何が？丹沢の水源林を歩いてそこで暮らす生きものや森の役割をさぐります。
実施日：平成23年7月31日(日)
時間：9:00～16:30
集合・解散：松田町 寄バス停
活動場所：やどりぎ水源林内
対象：小学校3～6年生とその保護者
定員：25名(応募者多数の場合は抽選)
参加費：1人1,500円
締切：7月15日(金)
申し込み：往復はがきに行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入の上、締切必着で下記住所まで。

- スライドトーク・ミニトーク (無料・申込不要)
開催日：毎週日曜日
13:30～ 30分程度



2011
6月号
No.88

～自然公園から季節のたよりをお届けします～ 神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

雨上がりの楽しみ…

陣馬自然公園センター



そろそろ梅雨の季節。今年の梅雨は雨が多いのでしょうか？それとも…空梅雨？
陣馬山頂では、雨が上がった日などには霧が晴れて遠方の山々が姿を現す幻想的な景色や、滝雲の出現など、自然の姿をおおきく楽しませてくれます。これからの登山道脇にはウツボグサやホタルブクロ、アカショウマ、コアジサイ、ナルコユリなどの花々が咲き誇ります。梅雨の晴れ間にはぜひ登山を楽しんでくださいね。



登山者は、グループ、親子連れの他、最近には特に若者達のグループが増えています。若者達の間で登山の楽しさが口コミで広がっているようです。
安全に楽しい登山をする為に最新版の登山地図をお持ちですか？登山道や標示等が変わっている場合があります。常に最新版を使いましょう。(荒井)

(写真)

陣馬山からの眺め

ホタルブクロ	ウツボグサ
春の登山風景	

自然公園へ出かけよう



休館日は直接お尋ねください

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00～16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakov/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日礼場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒 231-0027 横浜市中区扇町3-8 関内ファーストビル6階
TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932
自然公園課: sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>
後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索

バードウォッチャーのマナー

宮ヶ瀬ビジターセンター



キビタキ



センダイムシクイ

今年の夏鳥の初認日
 イワツバメ (3月12日)
 ツバメ (4月10日)
 センダイムシクイ (4月15日)
 ヤブサメ (4月15日)
 オオルリ (4月18日)
 クロツグミ (4月20日)
 キビタキ (4月25日)
 ツツドリ (4月29日)
 ジュウイチ (5月4日)
 サンショウクイ (5月6日)
 コサメビタキ (5月9日)
 ホトトギス (5月14日)

宮ヶ瀬ビジターセンター裏にある早戸川林道は探鳥地（バードウォッチングをする場所）として有名になり、朝早くから多くのバードウォッチャーが訪れています。ところが、困ったことも多かったです。野鳥を近くで観察したいがために、餌を撒いたり、録音された囀りを流しておびき寄せたりする例があるので。

これらの行為は、野鳥の生活を乱すことに繋がり、野鳥にとって決して良いことではありません。自然の中で生活する姿を観察していただきたいものです。（青木）



早戸川林道
入口の看板

ヤマセミとの出会い

箱根ビジターセンター



全国的に個体数の少ない「ヤマセミ」を箱根を流れる早川にて確認しました！

箱根ではヤマセミに出会う確率は数%程で、見つけようと思って探し回ってもなかなか発見できる鳥ではありません。現に、箱根ビジターセンターのヤマセミの展示にも「箱根にもいるんだって！見たい見たい見たい見たい見たい」とコメントが添えられている程(笑)。いわば鳥のアイドルのような存在なのです。

このヤマセミは5月の中旬頃に確認されました。自然情報の収集を行う為に早川沿いの道を歩いている途中、早川の downstream から上流、芦ノ湖へと向かって飛んでいく鳥を目視。あまり慣れないなあ、と思いつつも目を凝らして見ると、それはヤマセミでした。飛んでいる時は、特徴のある頭の部分はただたんでおり、まるでベレー帽をかぶっているように見え、その姿は全く別の鳥のようでした。

数少なく珍しい野鳥だけに、実際に見る事ができたのは非常にラッキーでした。しかし、数の少ない鳥であるという事になると、我々のすべきことは？それは「騒ぎ立てない」「追い回さない」という事。珍しい鳥だからといって「是非とも写真に収める！」の精神ではなく、逆に、より一層の静かに見守る行為が小さな保護活動になるのかもしれない。

今後、またどこかでヤマセミにばったりと出会えたらいいなあと思います。（加藤）



館内に展示してある
ヤマセミ

地面の上では・・・！

丹沢湖ビジターセンター

初夏を迎えた森では様々な生きもの達の活動が活発になります。

花々の蜜を求め飛びまわるチョウやハチ、木や草の間に糸を張るクモ、せっせとエサを運ぶアリ、そして地面を見ると・・・色々な生きものが動いています。小さな甲虫を始め、クモ・ダニ・陸貝・カタツムリ・ヤスデ・ムカデ・ナメクジなど、ちょっと気味が悪いと思われる方もいるかもしれませんが、彼らも環境に敏感な生物で、ダンゴムシに似たタマヤスデやオオケマイマイ（殻のまわりに毛があるカタツムリの仲間）などは自然環境の良い場所であれば出会えます。

この時期、そんな小さな生きもの達の中にいるダンゴムシは初夏に出産を迎えます。ダンゴムシと言っても甲殻類(カニ・エビなどの仲間)なので、お腹の膜の中に卵を抱いて育てます。卵からかえった、たくさん赤ちゃんを抱えている時もあります。お母さんダンゴムシのお腹から一匹ずつ出てくる姿を見ると思わず“がんばれ!!”と声をかけてしまいます。

皆さんもちょっと目をこらすと小さな生きもの達の感動シーンに出会えるかもしれません。（木村）



オオケマイマイ	タマヤスデ
ダンゴムシ	ダンゴムシの出産
枯草に集まった生き物	

霧の中の大山山行

秦野ビジターセンター

霧に包まれた6月のある日、ヤビツ峠から大山へ登りました。濃い霧で林に入ると数メートル先は白く見えません。この天気で助かったのは、暑さが多少和らいでいたこと。この後回復するはずの天気予報を信じて進みました。

こんな日は、野鳥の声がよく聞こえます。コルリの「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピンツルルルル」というさえずりが間近から響きました。目をこらすと、しずくをつけた小さな花が沢山着いています。他にもこんな目ならではのラキラした物がいろいろと見つかりました！



キラキラ花
(オニツルウメモドキ)



キラキラ毛虫



雨降木のブナ



大山山頂から

大山山頂にある雨降木のブナは霧の中に浮かび、幻想的でした。すると急に霧が晴れ、雲の下に下界の町並みと海が見えてきました。

雨に洗われて花や緑がいつそう濃く鮮やかです。

霧の日の山行は、道迷い遭難の危険が増大します。無理のない計画で安全な山行をお楽しみ下さい。（柳川）



サラサドウダン